

# リフォーム第一号



## NAGASAKI 看護連盟だより



発行所

諫早市永昌町23-6  
長崎県看護連盟  
責任者 山口ミユキ  
☎0957-49-8064



頑張る支部長たち

## さあ…前進・リフォーム長崎県看護連盟

激動社会とはいいながらも、予想外の衆議院選も国民が選んだ自由民主党の圧勝で終わりました。

すでにご承知のとおり、衆議院比例代表中国ブロックで、前日本看護協会副会長の阿部俊子氏が短期の選挙戦で当選されましたことは、実に素晴らしく何にたとえようもない大きな喜びであります。この成果は、地元の皆さまを始めとし私も全国の看護連盟が中心となってそれぞれの立場から支援したものであり、長崎県看護連盟も充分その役割を果たしました。また、地元国会議員（自由民主党）の方々に対する全面的な支援の結果、推薦者全員当選されました。この喜びを分かち合い、これからのご活動を期待するものであります。

会員の皆さまには日々業務繁雑の中でのご協力に対して、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



会長  
山口ミユキ

### I ベッドサイドから政治を変える — リフォーム長崎県看護連盟の役割と活動 —

○平成17年度通常総会で規約改正

#### 特に主たる内容

名称 「日本看護連盟長崎県支部」より「長崎県看護連盟」と改名  
各都道府県が責任もって責任ある活動をする

#### 支部誕生

- 1 これまでの支部活動を新支部が主体性をもって活動する
  - 2 長崎県看護連盟4地区に10支部誕生
    - ・離島地区 五島支部
    - ・県南地区 4支部
    - ・県央地区 3支部
    - ・県北地区 2支部
  - 3 各支部に支部長と幹事長が誕生。支部長は幹事を2～3名選出し、役員会を構成する。
  - 4 リーダー選出。各支部内に施設より会員30名に対し1名位の割合で選出する。
  - 5 各支部の活動（平成17年度の重点活動）  
リーダーを育成する。そのために必要な研修会を、各支部が責任もって実施する。
- ◎会員の末端まで声が届くための支部組織で、これからの活動が期待できます。

### II 長崎県看護連盟のこれからの活動（3ヵ年に向けて）

#### 1 平成17年度（1年目）

①これまでの活動をふりかえり、新規約に従い、路線を敷くと同時に活動。  
そのために、

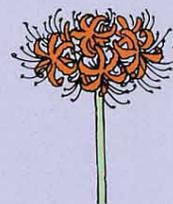
- ・県連盟と支部の役割を充分認識し理解する。
- ・県連盟の役割と、支部の役割に従って活動を展開する。
- ・評価（1年をふりかえる）

#### 2 平成18年度（2年目） 後援会活動が加わる年である。

- ①実践と活動（17年度の評価を礎に）
- ②中間的な評価と調整
- ③評価（2年間をふりかえる）

#### 3 平成19年度（3年目）

- ①目的達成のための活動 1～2年間の活動を礎に、生き生きとした実践活動
- ②中間的な評価と調整
- ③評価（充分満足な活動ができた）



以上のことを根ざす実践活動こそが規約改正の意図することで、長崎県看護連盟のリフォームの一環であります。これまでの活動を更に強化して、平成18年度日本看護協会が、厚生労働省へ提出した要望書が無にならないために、会員の増加を図り組織強化によって、看護の組織代表清水、南野、阿部先生に、力強い活動を期待するものであります。

会員お仲間同志の皆さま、力合わせて、すべての人々に安心と安全、そして安定した看護が届くために努力を重ねて前進しようではありませんか。健康こそが明日への良い看取り、充分ご留意のうえ、各々のご活躍とお幸せをご祈念します。

……人々に手と手のぬくもりを…… 彼岸花も盛りを告げる頃（17.9.27記）

## 各支部長紹介・抱負 県南地区

### 第1支部

この度、支部長という大役をお引き受けすることになりました。連盟会員でありながら正直言って連盟活動には積極的ではなかったと思います。まさかこのような大役が回ってくるとは夢にも思っていませんでした。しかし、役を引き受けた以上は責任もって会務を遂行したいと思っています。総会後さまざまな会議に出席し、山口会長の熱い話を聞きながら連盟活動の大切さをひしひしと感じ、看護職を国政に送り出すことの重要性も理解できました。現場の職場環境を少しでも改善し、安全で安心の看護ケアを提供できるように私たちの代表が必要なのだと思います。今後は支部として、リフォーム看護連盟に向かって、“**ベッドサイドから政治を変える**”をスローガンに微力ではありますが皆様とともに頑張りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



第1支部長  
浦瀬 妙子

### 第2支部

猛暑のつづいた暑い夏もそろそろ終わり、朝夕涼しくなってきました今日この頃、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか？ 長崎県看護連盟の組織が変わり、それに伴い、支部結成式も皆様のご参加により無事終了することができ、ありがとうございました。お蔭様で、県南4支部共に足並みをそろえて歩み出したところです。これからは、組織が細分化されましたので、会員一人ひとりが連盟活動を担っている、充実感のある活動ができる組織づくりのリーダーとして皆様と共に努力していきたいと思っています。連盟通信にも掲載されていましたが、会員の皆様が臨床の場で困っている生の声を聞かせて下さい。この声を私達の代表議員に伝え政治に反映してもらい、看護の質の向上につなげていきたいと思っています。これを実現させる為には、会員一人ひとりが政治に関心を持ち、投票行動につなげる事が大切です。“**ベッドサイドから政治を変える**”をスローガンに会員皆様と一緒にこの一年勉強していきましょう。



第2支部長  
久米 春代

又、今年は県南地区第8回看護祭の年でもありますので、この活動を通し、未加入施設へのはたらきかけを行い、会員の増加、組織強化へとつなげていきたいと思っております。御協力よろしくお願い致します。

### 第3支部

県南地区第3支部長の役目を負うことになった松本不二子です。原爆病院に勤務していますが、今まで積極的に連盟活動してこなかったうえにいきなり支部長の大役を仰せつかりました。どうぞよろしく願いします。第3支部は原爆病院はじめ長崎大学病院、市立成人病センター、小江原病院、三菱病院、にしきの里を守備範囲として連盟会員900名以上の大所帯ですが公務員の大学、成人病センターは選挙活動ができません。でも後援会活動は出来るそうですのでその時はよろしく願いします。



第3支部長  
松本不二子

抱負ということですが、身近なところでは自分の病院の連盟会員の増加を目指したいと思っています。又“**ベッドサイドから政治を変える**”というスローガンにあるように身近な看護問題を上部組織に持っていくのも役目ではないかと思っています。8月30日付けの朝日新聞に今回の郵政民営化法案に青票を出して衆議院立候補を断念した能勢和子元衆議院議員のことが載っていました。「私にも本丸があった。看護職の地位向上を図ろうと思っていたのに何も出来ないまま終わってしまった」と涙ぐんだという……能勢和子氏の無念さが本当に伝わってきました。と同時に政治のしたたかさ、非情さ、むずかしさなどいろいろ感じたこの数日でした。連盟活動は、誰のためでもない、自分自身、一人ひとりのための活動であることの意識向上が（私自身を含め）図れば良いナと思います。他の経験豊富な支部長さんの助けや会員の協力を受けながらこの3年間頑張ろうと思います。よろしく願いします。

**第4支部**

8月9日の県南地区4支部合同結成式には、多数の会員の皆様にご参加いただきありがとうございました。

第4支部は、市内北部を中心に、西彼杵地区の一部の地域、7施設1役場で構成され、現在627名の会員を有しています。支部としての役員体制は整いましたが、連盟活動については山口ミユキ県連盟会長によると、幼稚園生であり、役員一同、戸惑いと発見・奮起の日々を送っています。今回、組織強化のため各施設にも中心となって活動し、意見集約をしてくださるリーダーの選任をお願いしています。施設・会員の皆様との連携をより強化し、活動が活性化できるものと期待しています。

看護連盟は看護協会の目的達成のためにありますが、法律改正をしなければ解決できないことばかりです。私たちの代表を国政の場へ送ること、私たちの問題解決に協力してくださる議員を選ぶこと。ここに連盟の役割、会員・看護職としての責任があります。

今回の組織改革、“**ベッドサイドから政治を変える**”とは、現場での悩みや問題を連盟活動につなげる。会員一人ひとりが連盟を身近に感じ、会員としての役割、行動が見えるようになるということではないでしょうか。「数こそ力」一人でも多くの方へ看護連盟入会のお誘いをお願いいたします。

まずは9月11日の衆議院議員選挙の勝利と、10月22日県南地区4支部合同看護祭の成功に向けて頑張りましょう。



第4支部長  
林田英子

**県央地区****第1支部**

会員皆様のご協力を得て、長崎県看護連盟県央地区の支部結成式を8月11日盛會に開催することができました。

国・県・市の議会議員の先生方にも華を添えていただきました。

長崎県看護協会会長、長崎県看護連盟会長、副会長、先輩諸氏にお力を借りて、無事終了しました。

支部長としての認定証をいただき、これはもしかしたら、大変なことを引き受けてしまったのではないかと、少し不安になっているところです。

皆様もご承知の通り、17年度から、連盟の規約が大幅に改正され、それに伴って組織も変わりました。日本看護連盟見藤隆子会長と長崎県看護連盟山口ミユキ会長連名の認定証でした。

支部長として、力一杯やることだけは覚悟を決めましたが、不安も大きく、力もまだまだ足りません。どうか皆様に支えていただき、役割を果たしていきたいと思っています。

看護職の一人ひとりが、もっともっと医療・看護政策に関心を持ち、安全で安心な看護を提供できるよう、希望と勇気を持って連盟活動をやっていきたいと思ひます。

これから一緒に頑張りましょう。ご協力をよろしくお願いいたします。



第1支部長  
伊達信子

**第2支部**

リフォーム連盟の事業のもと、県央地区第2支部は全国6番目に支部認定証を戴きました。地区から支部に生まれ変わり、私達役員5名は自分の果たすべき役割の大きさを考えドキドキしています。

新支部の役割は①会員に対する研修 ②会員獲得活動 ③後援会活動など大きなものばかりです。早速、郵政解散のため第44回衆議院議員選挙の火ぶたが切られ、この新聞が皆様のお手元に届く頃には私達の代表、阿部俊子さんの当選、久間章生先生の9期目の当選が決まっている事でしょう。

時々、看護連盟は政治活動だから嫌だという声が聞こえたりします。しかし労働条件の改善も看護教育の充実も法律の制定・改正《育児休業法・専修学校からの大学編入・DV法・看護職の名称「師」で統一》なども、私達看護職の代表、清水嘉与子・南野知恵子両先生が国会にいたからこそ成し得た事なのです。また、これらの事は患者様の療養環境の改善にも繋がっています。自分のために患者様のために是非一人でも多くの方に連盟に加入していただきたいと思ひます。

現在、第2支部地区内の看護協会会員数は535名です。この内連盟会員数は371名、あと164名の方に入会する権利があります。皆様の周りの未加入の方に一声かけてください。役員だけではどうにもなりません、一人ひとりの会員のお力が必要です。看護連盟スローガン“**ベッドサイドから政治を変える**”を旗印に皆で頑張りましょう。



第2支部長  
星田美恵子

**第3支部**

支部長の大役をお受けして早くも三カ月がすぎました。これまで地区役員をいろいろさせていただきました。その時はどこまで本気で関わっていたか？ 支部長になって改めて責任の重さを感じています。目まぐるしい変革の中で国民の健康を守り育む為に看護職はもっと政治に参加しなければなりません。私たちの職域でも今後三位一体改革の影響を否定出来ないと思います。看護の道に憧れ目指してきたものの夢や期待を努力の末にでも叶えられる職域でありたいものです。安定・成長する職域を願うならば地道な看護連盟活動に共通理解と協力を得て看護師として誇りを持ち続ける事ができる職域を期待します。最後になりますが**“ベッドサイドから政治を変える”** リフォーム連盟、皆でやれば怖くない!! 厚かましく頑張りたいと思います。健康で安心して暮らせる社会を造る為の活動である連盟活動に誇りを持って……。



第3支部長  
浜崎 徳彦

**県北地区****リフォーム看護連盟 —ベッドサイドから政治を変える—****第1支部・第2支部**

このたびの組織改正により、県北地区（佐世保・北松浦郡・田平）に、第1支部と第2支部の2つの支部が誕生しました。このように変革の大きい時期に、初代支部長（第1支部・廣瀬、第2支部・吉村）を拝命し、役務の重さを痛感しております。

幸いに、私たち県北地区には、先輩諸氏によって築かれた連盟活動が根強く引き継がれております。これまでの組織力を維持しつつ、発展できるよう、現会員1,221名が結束していくことを本会の中で誓約しました。そのためには、看護の声を国政に届け、看護を取り巻く諸問題が改善され、看護の環境が良くなるよう、連盟会員としての役割を認識するための研修や、政治に関心を持つことから進めていきます。



第1支部長  
廣瀬 純子



第2支部長  
吉村 津弥子

**離島地区****五島支部**

看護連盟の組織がリフォームし、離島地区から離島地区五島支部となり今までよりも更に重責を感じております。「政治の活動抜きにしては、看護の条件・処遇の改善は望めない」そのことを踏まえ山口会長の指導のもと、坂下幹事長と共に、看護協会・連盟の力を集結し頑張っていきたいと思っております。会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



五島支部長  
藤 和枝



# 平成17年度 日本看護連盟長崎県支部 通常総会

日時：平成17年7月9日(土) 14：10～16：07  
 場所：ながさき看護センター 諫早市永昌町  
 出席：会員420名、役員28名、計448名

## =総会を終えて= 参加者の声

○会員の団結力とみなぎるパワーに感銘を受けた。  
 ○やはり政治と看護は切り離せないものだ。

三佼会 宮崎病院

○名称変更の意味は理解できました。連盟についてあまり興味はありませんでしたが、会長の言葉等聞き、自分なりに協力していきたい。

長崎記念病院

○今回、初めて看護連盟の総会に参加し、看護連盟の協力で当選した議員の多さに、驚きと看護連盟の力強さを知ることができました。看護連盟は、選挙の時だけ活動しているように思っていたが、日頃より看護職の地位の確立の為に活動している事が良く分かり連盟新聞等にもっと目を通す必要があると思いました。看護連盟歌がある事も初めて知りました。総会が長くなると、座っている時間も長くなるためもう少し短時間で終わっていただくと良いと思います。

十善会病院 藤沢妙子・荒木佑美



## 日本看護連盟通常総会に出席して =代議員だより=

皆様の「看護」の仕事環境は快適ですか？

色々ときつい現実や改善して欲しい気づきがあると思います  
 が施設内だけでは感情論になりがちです。看護職全体で、少しでも働く条件を良くしていきましょう。——その行動をするのが看護連盟です。政治力が要るのです。これまで遠い存在に感じていた皆さん、看護連盟って何するところ？と近づいてものを言ってみてください。

これまでの組織をリフォームして身近で意味が分かる組織に、自分たちでしていきましょう。  
 山口 則子

素晴らしいホテルでの会場のハイセンスに感動。それにもまして全国の会員の方の集合数に感動。想像していたよりも全国の皆様の熱心な姿勢に驚きました。

看護の向上に向けてこの様な動きがあって現在がある事を知りました。小さな力では変えていけない組織の力が必要なことも改めて認識させられた通常総会でした。

他人事の様な政治との係わりが(私だけでなくたぶん他の人もこんなスタンスが多い)無責任であった事も反省させられた会でした。今でなく将来の為に、また後輩の人の為にも懸命に活動されている方達への姿勢に頭が下がる思いが致しました。この思いを伝えていかなければ……と、使命感みたいなものも覚えました。

また多くの方と触れ合いお知り合いになれた事も感謝です。  
 匿名さん

6月3日、日本看護連盟通常総会に代議員として参加させていただきました。連盟会員となって20年以上経ちますが、今回が初めての参加でした。平成17年度は現場から看護の声を政治に届けようと「**ベッドサイドから政治を変える!**」をスローガンに連盟活動の強化を目的に今年度から連盟がリフォームされるということで、執行部と代議員との間で活発な意見交換が行われました。参加して他の代議員の質問を聞き、どこの施設でもマンパワー不足など大変な環境の中で看護師が勤務していることを実感し、今の体制を変えるには政治の力が必要ということを改めて認識しました。今年度より県北支部の幹事として活動していきませんが、自分達のため、後輩達のためにより働きやすい環境を獲得するために努力していききたいと思います。

県北地区 越智恵美子

前略 いつも大変お世話になっております。この度日本看護連盟通常総会に参加させて頂き戴きありがとうございます。今回2回目の総会出席でした。1回目は、静かに終わった記憶がありましたが、今回は総会らしい活気のある内容でした。今年度のスローガン「**ベッドサイドから政治を変える!**」は、リフォームにふさわしいよくわかるスローガンだと思います。皆様が新体制に向けて期待する事・不安に思う事は皆同じだと思います。動ける組織づくりに向けてこれからも頑張っていかなければと思います。とてもシャレたプリンスホテルパークタワーでした。今後ともよろしくお願ひ致します。

県北地区 森下

# 平成17年度 日本看護連盟通常総会 報告

県北地区 吉村 津弥子  
第2支部長

去る6月3日(金)、東京プリンスホテル・パークタワーにて、全国から2,000名以上の出席者が集まり、平成17年度日本看護連盟通常総会が開催され、長崎県からは43名の代議員が出席した。

見藤隆子連盟会長の「国際的に看護が政治力を持つことは重要である」の発声で開会、来賓として出席した久常節子協会長の「連盟と協会は一身二体、力を合わせて大きな組織にしよう」と、協会・連盟の連携強化を直に感じた。総会に入り、平成16年度事業報告では、組織代表南野知恵子を三度、国政に送るという目標は達成したとの報告があった。

続いて、協議事項に入り、平成17年度スローガン“**ベッドサイドから政治を変える**”、規約改正、平成17年度活動計画、17年度予算などの案がそれぞれ賛成多数で決定した。今年の総会の最重点議案であったリフォーム連盟に関しては、執行部の説明後会場との熱心な質疑応答が交わされ、協会の目標達成の為、看護職の働く環境整備の為、看護を安全に提供する為、連盟が必要であり、政治が必要である。その為に組織力が如何に大切であるかということを確認した総会であった。

本総会で、2005年リフォーム連盟がスタートした。

代議員一同組織強化に向け会員としての自己の責任を自覚し、行動していきたいと思えます。



総会 開会式 (見藤会長を中心に)



総会翌日 (6月4日)  
国会議事堂見学の代議員一同

## 祝 当 選



久間 章 生  
議 員

県央第1・2支部



北村 誠 吾  
議 員

県北支部



谷川 弥 一  
議 員

県央第3支部  
離島支部



富岡 勉  
議 員

県南支部

**各支部、応援お疲れ様でした!!**

# 平成17年度 長崎県看護連盟 新役員



## 都道府県別会議 H17. 9. 10(土)

本部より石田幹事長と鈴木幹事が来崎され連盟役員と全支部長との会議が開催されました。



### 長崎県看護連盟研修会予定

	10 月	11 月
施設代表者研修会		10日(休) 13:30~15:00 場所:看護センター 講師:臼杵前会長 松本前幹事長
リーダー会研修会	7日(金) 県南地区 18:30~20:00 場所:長崎会館 講師:鈴木文江先生	10日(休) 13:30~15:00 場所:看護センター 講師:臼杵前会長 松本前幹事長
会員研修会	26日(休) 13:30~15:00 場所:看護センター 講師:見藤隆子会長	
新入会員研修会	26日(休) 13:30~15:00 場所:看護センター 講師:見藤隆子会長	

### 編集後記

政治で日本が変わる。  
選挙の結果が国民の声で  
ある様に、連盟も皆様の  
声を大切にし、新たな  
旅立ちを目指しています。  
(スタート)

金澤、本田、中嶋、  
佐藤、野口、本村